

文部科学省補助事業 「地域科学技術実証拠点整備事業」の採択について

県では、自然環境や資源を最大限に活かした「自然共生型産業」などの新たな産業の創出に向け、熊本大学と共同で文部科学省に提案していた「地域科学技術実証拠点整備事業」について採択されましたので、お知らせします。

本事業は、産学官が連携し地域の雇用の創出と経済活性化に貢献すると認められる提案に対し、国が支援するものです。

なお、文部科学省の報道発表資料を別添のとおりに添付しております。

【採択事業の概要】

- 1 拠点名 自然共生型産業イノベーションセンター
～高品質の原料生薬の安定供給システム開発から革新的医薬品へ～
- 2 事業内容
 - ・ 熊本大学薬学部内に、大学と包括連携関係にある平田機工(株)等を中核とした産学官連携の研究実証拠点を整備し、熊本大学が有する世界各地の薬草や有用植物のライブラリー及び機能評価等の技術シーズと、平田機工(株)の世界トップの生産ライン等の制御技術等を融合させる。
 - ・ 高品質・安定的な漢方薬等の原材料供給システムや、アンメットメディカルニーズ(※)を満たす革新的医薬品の開発・事業化を行い、雇用の創出・経済の活性化につなげる。
※まだ有効な治療方法が見つからない疾患に対する医療ニーズのこと。
- 3 提案者及び事業者
提案者：熊本大学及び熊本県
事業者：熊本大学
- 4 事業費
国費 9億円（施設整備費 8億円、設備整備費 1億円）

〈問い合わせ先〉

- 熊本県
企画振興部企画課 政策班
堤（内線 3587）
藤本（内線 3585）
333-2018（直通）
- 熊本大学
マーケティング推進部社会連携課
吉本、南部
342-3100（直通）